放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 5 月 吉日　　事業所名　ベーテルの夢

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			家具の配置等を工夫している	利用時の成長に伴い室内のスペースが狭くなってきているため、戸外活動を増やしている
	2	職員の配置数は適切である	8				・基本人員は配置出来ている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3		机の角をとる	・重症心身障害児対象のため・玄関先の段差やトイレの広さ等 ・対象児がいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8				・毎朝の全員スタッフミーティングで会議した内容を決まった職員にて中間評価や個別支援計画作成に起こし、参加できない職員には議事録を回し意見書等を反映できるようにしています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			・保護者からの意見等など随時回覧し職員で共有しています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1			ホームページの活用を充実させる
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		地域の方との関わりがある	地域との関わりを強める・第三者評価は受けてないが、評議員や外部法人の監査員に指導をうけている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8				・各機関から発信される研修等の情報を得、スタッフには必要な知識や経験の習得に励んでいます ・今年度は研修等がオンラインで開催されたりして、ズームにて参加をしました。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				・スタッフミーティングにおいて知り得た情報を共有し、各スタッフの感想も踏まえ客観的なデーターを収集しニーズと課題を分析しその上で個別支援計画書に移行します
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		1		・入所の際にアセスメントツールを使用しているが、頻回にやっていない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				リーダーが計画案を立て、スタッフで話し合い調整している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・子供の意見を取り入れている ・遊びの提案を積極的にしている	・視覚化する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・利用児の希望も取り入れている	・ホースセラピー(アニマルセラピー)の活動に新しく立案し実施
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8				支援プログラムの内容は様々なデータをもとに組み立てられた内容になっています、これを基本として利用児童の状態や性格と他利用児童との関係性を考慮しながら進めています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				・毎日のミーティングで役割分担を行い前日の共有なども行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8				・毎日朝の支援者会議にて振り返りを行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				・個別支援計画書、保護者への連絡事項などに連動した記録用紙を用いて、記録内容に矛盾が生じないように留意しています ・業務後か翌日の午前にPC入力します
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				・1か月に1度のモニタリングや半年毎の中間評価を行い、スタッフミーティングにおいて共有された情報を加味しながら、児童発達管理責任者によって計画の見直しを行いっています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8				・職員会議などでガイドラインなどを学び、共有することで基本活動を組み込めるようにしていきます

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8				・サービス担当者会議には児童発達管理責任者又は管理者が出席し、必要に応じて担当職員が出席するようにしています ・児発管が参加しています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8				・共通の連絡手段で小まめに連絡をとれる体制が出来ている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	7			医療的ケア児はいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8				・共通の連絡手段で小まめに連絡をとれる体制が出来ている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2			対象児無し
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8				・児童発達支援管理者を通して連携し、継続的な関係性の維持を通して利用児童に必要な支援の在りについて助言を得ています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8			地域の子も利用する自治会で一緒に遊んでいる	・外部や地域の子たちと自治会広場等公共施設で交流している
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5	3			・当該サービスの客観性を保持するために、児童発達支援管理責任者、児童指導員等を通して参加し、可能な限り地域に根差したサービスの在り方と利用児童本位のサービスの構築を目指していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				・日々の連絡帳や、個別にての相談支援や電話やメールにてのやり取りを通し、子どもの現状等を把握し迅速に対応できるようにしています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1			・今後、保育や医療の専門家と連携しながら、利用児童の必要に応じて取り組んでいくます

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				・契約時や毎月発行のベーテル通信等において、当事業所の基本的方針や支援内容、利用に係る費用について連絡している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				・必要に応じて児童発達支援管理者、児童指導員、その他のスタッフが相談援助の役割を果たしていきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			ベーテルカフェ（保護者の集い）	・コロナが収束しベーテルカフェを再開した。 ・ベーテルカフェ等で保護者同士の連携を支援
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				・相談内容について、職員で共有、内容を回覧している ・情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集に努め、必要な対応をとっていきたいと思います
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				・ベーテル通信等定期的な会報によって情報は発信を行っている
	35	個人情報に十分注意している	8				事前に写真等を物めてとする個人情報について配慮し、保護者の確認、承諾を得ている すべてのスタッフが個人情報保護に関する研修を受け、この点について十分な理解をし、利用児童とおのご家庭の安全安心に努めます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				・情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集に努め、必要な対応をとっていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1		地域の方との関わりの場	状況に応じて地域に根差す事業運営に取り組んでいきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				・感染症拡大予防を強化し取り組んだ
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		近隣消防署等への連携、交流を図りながら、机上訓練をはじめ、訓練の実施を必要に応じ行った	・防災訓練等（防火・防災）に関する避難訓練を防災計画書において提出した内容に従い行っています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			虐待防止に関する研修について、特に意識しながら研修に参加し、知り得た情報や伝達研修・所内の研修を通してスタッフ内で共有していくように努めました	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		・拘束しないケアの在り方についてスタッフ全員で取り組み、高齢者福祉サービスから得た考え方やノウハウを現場に活かし、保護者との十分なコミュケーションを行いました	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1			ご家庭より提出される情報に合わせ、必要に応じて医師の指示書を提出してもらう.
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				その都度記録